

# 原生的な森林植生の宝庫

〜長野と新潟にまたがる秘境の自然〜

さぶりゅうやま  
佐武流山周辺 森林生態系保護地域

## 設定目的

長野県と新潟県の県境に位置し、日本海側から太平洋側の森林植生への推移帯にあたる原生的な森林生態系を形成しています。

その生態系を保護・管理し、自然環境の維持、動植物の保護、遺伝資源の保存、森林施業・管理技術の発展、学術研究等に役立てるため、保護林として設定しています。

## 地況・林況

三国山脈（佐武流山、岩菅山、赤石山等）に囲まれ、中津川上流及び清津川源流部を有し、全般的に急峻な地形となっています。

地域内の標高差が約一五〇〇メートルのため、植物相が豊富です。

一五〇〇メートル〜一六〇〇メートルの山地帯では、ブナ・チシマザサ群落为主体となっています。亜高山帯には、オシラビソを主体にクロベ、コマツガ、トウヒの混交する群落やダケカンバ群落等が分布しています。二二〇〇メートル以上の地域には、ハイマツ群落、高山性礫地群落、風衝ササヒゲノガリヤス群落等が分布しています。

新シリーズ

中部の保護林(第1回)

岩菅山への登山道から  
岩菅山を概観

所在地  
長野県山ノ内町、栄村



※自然保護のため、詳細な位置情報は掲載していません。

ベニヒカゲ

ゼンテイカ群落  
(通称ニッコウキスゲ)

国有林野には、世界自然遺産を始めとする原生的な森林生態系を有する森林や、希少な野生生物の生育・生息の場となっている森林が多く残されています。

国有林野事業では、1915年（大正4年）以降、こうした貴重な森林を「保護林」として設定し、森林や野生生物等の状況変化に関する定期的なモニタリング調査を実施して、森林の厳格な保護・管理を行っています。

お問い合わせ先：計画保全部計画課 ダイアルイン：026-236-2612



※詳細は、QRコードを読み込んでください。